

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年8月8日（金）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアN（図1）

3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアNの状況

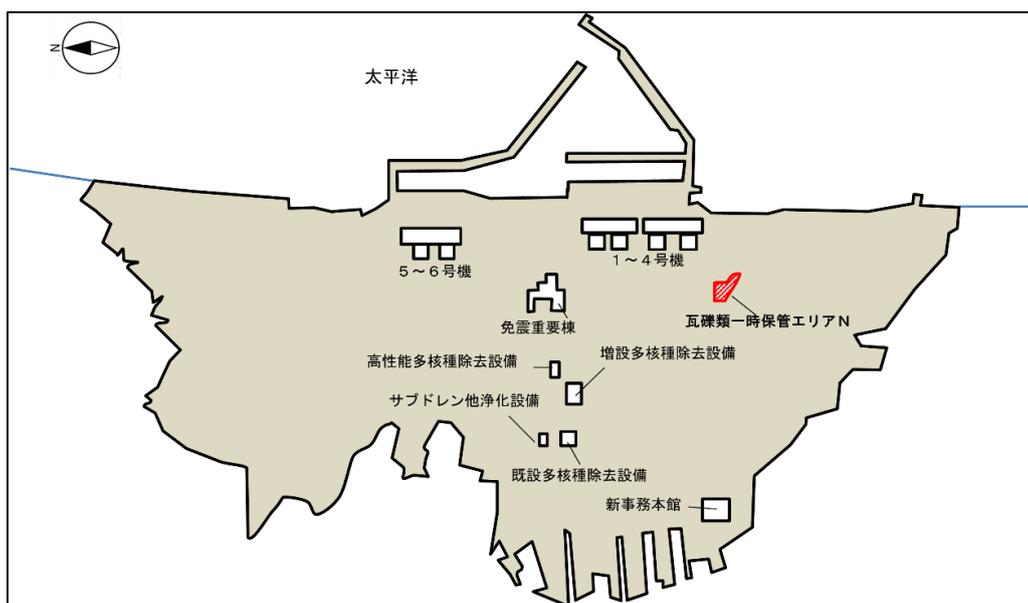
4 確認結果の概要

東京電力は水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外における一時保管を令和10年度中に解消することを目指している。その一環として、瓦礫類一時保管エリアN（以下「エリアN」という。）においてノッチタンクに保管されている汚染土壌^{*}を別の保管容器に入れ替え、固体廃棄物貯蔵庫へ運搬する計画としている。

6月末からエリアNにおける作業が開始されたことから、当該エリアの状況を確認した。（前回確認：[令和7年7月16日](#)）

- ・エリアN南西側において、屋根が撤去された区画にノッチタンク3個が据え置かれていた。2段積された上段のノッチタンクはネットで覆われており、内容物等の飛散防止対策が講じられていた。（写真1）
- ・エリアN周辺には内堰及び外堰が設置され、内堰と外堰の間には雨水が溜まっていた。また、外堰周辺に設置された鉄板の合せ目には防水塗装が施されていた。（写真2）
- ・エリアN周辺の空間線量率が掲示されており、直近の計測値は0.004 mSv/h（2025/8/6）だった。（写真3）
- ・確認した範囲において、内容物等の漏えいはなかった。

^{*}平成25年から26年に発生したタンクエリアからの汚染水漏えいにより汚染した土壌。これらの土壌は土のう袋に回収され、ノッチタンクに入れて保管されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) エリアN作業箇所状況



(写真1②) 入替作業中のノッチタンク



(写真2①) 堰及び防水対策の状況



(写真2②) 堰内に貯まった雨水



(写真3) 空間線量率の掲示

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。